

たかあき
かつまた 孝明 です！



昭和51年4月7日生まれ（35歳）
出身 沼津市
住所 沼津市花園町
家族 父親（沼津市出身）
母親（伊豆市出身：修善寺）
妻・長男・長女

経 歴

〔学歴〕

しょうえい幼稚園
沼津市立門池小・門池中 卒業
静岡県立沼津東高校 卒業
学習院大学経済学部 卒業
慶應義塾大学大学院経営管理研究科 卒業
（経営学修士：MBA取得）

〔職歴〕

平成12年4月 スルガ銀行株式会社入社
財団法人企業経営研究所 研究員
（地域経済産業分析）
経営企画部 人事担当マネージャー
平成22年12月 スルガ銀行株式会社退職
平成23年1月 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部 支部長

— お知らせ —



<http://ameblo.jp/t-katsumata>

ブログはじめました！！元気に毎日更新中！

いま、自民党が熱い！自民党員を大募集中！！

自民党に入党して、党員として自民党そしてかつまた孝明を支えてください！

入党資格

- ・ わが党の綱領、主義、政策等に賛同される方
- ・ 満18歳以上で日本国籍を有する方
- ・ 他の政党の党籍を持たない方

党費：一般党員 年額4,000円、家族党員 年額2,000円

申し込み方法

- ・ 自民党衆議院静岡県第6選挙区支部までご連絡ください。電話、eメール、直接お越し
いただいても結構です。



通
信

— 第 9 号 —

自民党衆議院静岡県第6選挙区支部
410-0048 沼津市新宿町 16-5 まるやビル 1-B
電話：055 (922) 5526 FAX：055 (922) 5527
ブログ：<http://ameblo.jp/t-katsumata>
公式サイト：<http://www.t-katsumata.com>
eメール：jimin@t-katsumata.com

静岡6区【沼津・伊東・熱海・下田・伊豆・伊豆の
国（旧韭山・大仁）・賀茂郡・駿東郡（長泉・清水）】

ボランティア大募集（6区支部まで連絡下さい）
まるかつ通信の企画・配布・街頭演説サポート・ポ
スター貼りなどなど、楽しい仲間と共に！

自民党 衆議院 静岡県第6選挙区支部支部長

たかあき

かつまた 孝明氏

の「社会保障費の再考」

～消費税引き上げの前に！～



小淵優子衆院議員と共に！！

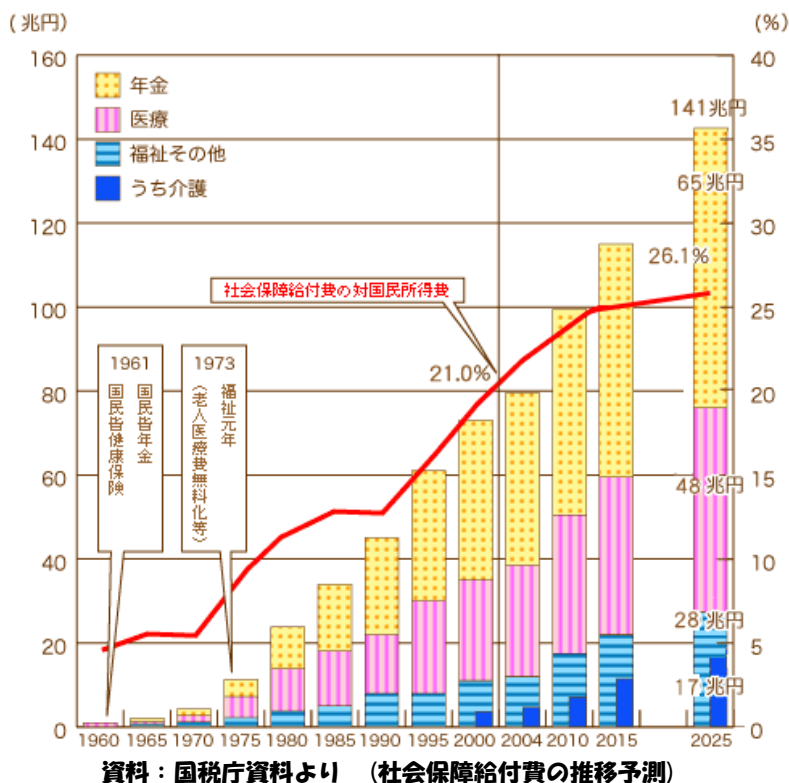
次世代を見つめた社会保障費の再考。

野田政権がスタートするにあたり、最重点課題とするとしていた「社会保障と税の一体改革」に道筋をつけるべく、財源の議論がされている。いわゆる消費税の引き上げである。

消費税の引き上げについては、今後、年金、医療、介護といった社

会保障費が少子高齢化社会をむかえるにあたって増大が見込まれるための財源に充当される。この社会保障費の増大を消費税で賄うということである。

しかしながら今なされている議論は、費用の増加ありきの議論になってしまっているのではなかろうか。



健康長寿社会を創る！

例えば、今後毎年一兆円以上の増大が見込まれる医療費を将来にわたり、現水準で維持（抑制）していくためには健康な長寿社会を創っていくことが重要なことであるのは言うまでもない。

そのためには、やはり健康の基本である食生活を幼少の時から意識していくことが必要である。

具体的には、親はもちろんのこと子供達への食育及びスポーツ（運動）の推進である。食育やスポーツにより、偏った食事を改め、肥満や生活習慣病を防ぐことで、3大疾病（がん・脳卒中・心筋梗塞）といった病を根本から防いでいくことが可能である。

さらに地域農業を巻き込んだ地産地消による食育を、義務教育のみならず保護者に対しても浸透させていき、健康長寿社会を創ることが、医療費の財政負担を軽減させることにつながることを認識していただきたい。

消費税増税の前にやるべきこと！

こうした社会保障費の増大による財源を消費税によって賄うことと、社会保障費（医療・介護）自体を維持・抑制していくことは両輪で考えていくことが必須である。

しかしながら、この消費税増税を議論するにあたって、国民の皆さんに納得していただくにはどうしたらよいのだろうか。

それは、まず国会議員・公務員が身を切ることである。議員定数の削減、国・地方による二重三重行政の解消…。

そしていま日本経済は、欧州財政の混迷、歴史的円高等を受け非常に厳しい状況である。つまり、何と云っても、景気回復、日本経済の再生が最優先であることは言うまでもない。優先順位を明確にした政策を打ち出すことが重要なのである。